STANDARD
TOKYO

２０２６年１１月１２日

各　　位

会 社 名　　セ ン コ ン 物 流 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役会長兼社長　久保田 賢二
（コード：9051　東証スタンダード市場）
問合せ先　　専務取締役
管理本部長　　柴 崎 敏 明
（TEL. 022－382－6127）

２０２７年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2027年３月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異（2026年4月1日～2026年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,600	百万円 280	百万円 450	百万円 230	円　銭 46　55
実績値（B）	10,330	299	448	△ 4	△ 0　88
増減額（B－A）	730	19	△ 2	△ 234	
増減率（%）	7.6	6.8	△ 0.4	－	
（ご参考）前第２四半期実績 (2026年３月期第２四半期)	9,453	194	180	55	11　18

2. 差異の理由

営業収益につきましては、乗用車販売事業における新車・中古車販売及びサービス部門が前回予想を若干下回ったものの、運送事業及び倉庫事業における受注が想定を上回ったことから、前回予想を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、増収効果があった一方で、人件費及び物流資材の購入費用が増加したことなどにより、前回予想を若干上回る結果となりました。また、経常利益は前回予想どおりとなりました。親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、退任取締役に対する役員退職功労加算金を計上したことなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

3. 2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	20,300	720	860	480	97　15
今回修正予想（B）	20,300	630	900	500	101　20
増減額（B－A）	0	△ 90	40	20	
増減率（%）	0.0	△ 12.5	4.7	4.2	
（ご参考）前年実績（2026年３月期）	19,919	384	370	48	9　77

4. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、第２四半期（中間期）の業績及び第３四半期以降の当社グループの業界動向、顧客動向ならびに事業環境等を踏まえ、上記のとおり修正いたします。

営業利益につきましては、人件費等の増加が引き続き見込まれることなどから、前回予想を下回る見込みであります。一方で経常利益につきましては、第２四半期（中間期）に計上した政府備蓄米の放出に伴う受託者向け支弁金について、今後、残額の入金を見込んでいることなどから、前回予想を上回る見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても上記の要因等を踏まえ、前回予想を上回る見込みであります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

以　上